

事業所名 グループホームかえで

作成日: 令和 5年 4月 28日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	長引く感染症対策により、本来のグループホームの活動を制限せざるを得ない事態があった。職員側の決まりや都合を優先するのではなく、グループホームならではの強みを活かした支援に繋がりたい。	グループホームの強みを個の強みに繋げ、生き活きとした(活気や勢いのある)毎日を共に過ごそう。	①入居者のニーズの共有・支援内容の把握・統一した支援の実践を行う。 ②1日1人1家事を見守りのみで行える事を考察し、自ら「やってみよう」と思えるアプローチや環境をつくり、実践する。	10ヶ月
2	48	気力や活動低下がみられる入居者にも、日々の生活に張り合いや喜びを持ち、心が嬉しくなるような生活を送れるようになってもらいたい。	心嬉しい生活の場を創り、強みと弱みを見極め共に育んでいこう。	①1日1回、1対1で入居者全員と5分程度の会話をし、強みや弱みを見極める。強みは常に増やすことを念頭に置き、弱みについては職員が黒子役に徹し見守る。 ②好きなことを継続していく事で心嬉しい気持ちを持っていただき、毎日、1人一躍(役)の役割を持っていただく。	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月